

## a.ヒト抗体

イビリムマブ Ipilimumab

●ヤープイ(プリストルM,小野)

点滴静注液: 50mg(10mL).

**【警告】**a.経験十分な専門医に限る。  
 b.患者・家族に十分説明し承諾を得る。  
 c.投与終了後数ヶ月以内に重篤な下痢、大腸炎、消化管穿孔→死亡例。  
 対策: 副腎皮質ホルモン等。

**【特】**a.細胞傷害性Tリンパ球抗原-4 (CTLA-4)へのモノクローナル抗体。  
 b.CTLA-4との結合を阻害

→腫瘍増殖抑制。

制御性T細胞(Treg)の機能低下  
 →腫瘍免疫反応亢進→抗腫瘍効果。

**【効】**a.切除不能な悪性黒色腫

b.術後の補助投与へは未承認。

c.未治療へは慎重に。

**【用】**生食5%糖液で1~4mg/mLに希釈。  
 a.1日1回3mg/kgを90分かけて点滴  
 3週間隔で4回

- ・独立ラインで点滴(禁: 急速静注)。
- ・他の抗癌薬と併用禁。
- ・副作用発現後の投与延期,中止基準は添付文書参照。

**【禁】**1.妊婦。

2.授乳禁止。

**【慎】**1.重度肝機能障害。

2.自己免疫疾患,同既往歴→増悪。

**【注】**投与後数ヶ月は,

次の重篤な副作用に注意→死亡例:

下痢,大腸炎,下垂体機能低下。

**【体内動態】**半減期は17日。

**【副】**60%**A.重大:**

- a.死亡例: ●大腸炎7%,消化管穿孔,
- b.重度の下痢,c.肝不全,肝機能障害,
- d.中毒性表皮壊死融解症,
- e.下垂体炎,下垂体機能低下症,甲状腺機能低下症,副腎機能不全,
- f.ギラン・バレー症候群等
- g.腎障害(腎不全),h.間質性肺疾患(急性呼吸窮迫症候群,肺臓炎)

i.点滴時反応。

**D.** ●そう痒10%, ●発疹35%, そう痒性皮疹,全身性皮疹,斑状丘疹状皮疹,紅斑,全身性そう痒,尋常性白斑,脱毛,寝汗,皮膚炎,湿疹,蕁麻疹,皮膚剥脱,皮膚乾燥,白血球破碎性血管炎,毛髪変色, ●悪心23%, ●嘔吐12%, ●腹痛6%, 腹部不快感,下腹部痛,便秘,放屁,胃腸出血,胃食道逆流,食道炎,腹膜炎,胃腸炎,憩室炎,膵炎,腸炎,胃潰瘍,大腸潰瘍,イレウス,リパーゼ↑,血中アミラーゼ↑,甲状腺機能亢進,性腺機能低下,血

中甲状腺刺激ホルモン↑,血中コルチゾール減,血中コルチコトロピン↓,血中テストステロン↓,血中プロラクチン異常,ALP↑,血中ビリルビン↑,肝炎,肝腫大,黄疸,γ-GTP↑,糸球体腎炎,腎尿細管性アシドーシス,血中クレアチニン↑,咳,呼吸困難,呼吸不全,肺浸潤,肺水腫,アレルギー性鼻炎,関節痛,筋肉痛,背部痛,頸部痛,関節炎,筋骨格痛,筋痙縮,リウマチ性多発筋痛, ●疲労24%, ●発熱7%,悪寒,無力症,倦怠感,浮腫,体重減,インフルエンザ様疾患,局所腫脹,注射部位疼痛,注射部位反応,粘膜の炎症,疼痛,多臓器不全,全身性炎症反応症候群, ●食欲減退11%,脱水,腫瘍崩壊症候群,低K血症,低Na血症,低リン酸血症,アルカローシス,霧視,ブドウ膜炎,眼痛,硝子体出血,視力低下,虹彩炎,結膜炎,眼の異物感,頭痛,味覚異常,末梢性ニューロパチー,末梢性感覚ニューロパチー,浮動性めまい,嗜眠,失神,構語障害,脳浮腫,脳神経障害,運動失調,振戦,ミオクローヌス,重症筋無力症様症状,髄膜炎,錯乱,精神状態変化,うつ病,リビドー減退,潮紅,低血圧,ほてり,血管炎,血管障害,末梢性虚血,起立性低血圧,不整脈,心房細動,貧血,溶血性貧血,リンパ球減,好中球減,血小板減,好酸球増,感染,尿路感染,気道感染,無月経